

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212BE05	ビジネス倫理	～企業に求められる社会との共生～	村瀬 次彦	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	コンプライアンス インテグリティ 共有価値創造 サステナビリティ		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	特になし				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	企業には本業による社会課題解決とともに経済的価値が求められています。そのために変化する外部環境をしなやかに取り込むサステナビリティ経営に向かっています。本講義では、ビジネス倫理の基本的な理論や定義を学ぶとともに、企業が直面している倫理的課題を通じて、将来、社会人として倫理的な振る舞いについて思考する際の基礎を構築することを目的とする。				
到達目標	本講義では、①ビジネス倫理の基礎的な理論・定義を知る。②社会と企業との価値創造のための仕組みを理解できるようになる。③その内容を自分の言葉で説明できるようになる。④最新の企業活動の動向を知り、倫理的な課題について自ら考察出来るようになることを目標とする。				
講義内容	ビジネス倫理の重要性は、企業を取り巻く様々なステイクホルダーが認めるところです。「なぜ、企業は倫理的であるべきなのか」「倫理的である企業とは具体的にはどのような企業か」「ビジネス倫理は企業価値の向上にどのように結びつくのか」等の論点や問題に事例を通じて考察します。また、複数の実務家などを外部講師として招聘し、企業の実際の現場で起きている課題について深い見識を得られるようにする。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	オリエンテーション	講義の概要、成績評価の説明、ビジネス倫理の変遷		
	第2講	倫理とコンプライアンス	コンプライアンスの基礎と考え方		
	第3講	倫理と経営者哲学	外部講師「正しいことを言うことは正しくない」		
	第4講	倫理とメディアリテラシー	メディア機能の理解と活用		
	第5講	倫理と企業不祥事	近時の企不祥事と真因		
	第6講	倫理とリスクマネジメント	外部講師		
	第7講	倫理と環境問題	環境問題の変遷とビジネスとの関係性		
	第8講	倫理とインテグリティ	インテグリティと企業経営の関係性		
	第9講	倫理と理念・価値観	理念・価値観の意義・浸透		
	第10講	倫理と人的資本経営	社員エンゲージメント向上と生産性との関係		
	第11講	倫理とSDGs①	外部講師		
	第12講	倫理とSDGs②	SDGsを実装するための思考法		
	第13講	倫理と共有価値創造	外部講師		
	第14講	倫理とESG	ESG投資とサステナビリティ経営		
第15講	ビジネス倫理のまとめ	各講義のまとめと質問など			
指導方法	講義の前半部（第2講～第6講）は、「守り」の企業経営、後半部（第7講～第14講）では、「攻め」の企業経営を学習する構成です。「ビジネス倫理」は企業経営の基盤とする位置づけです。必要に応じグループディスカッション等も行う予定。				
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間30分程度の学習時間が目安である。				
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1時間30分程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	平常点（リアクティブレポート：2講～14講）65% 期末レポート：25% 平常点（発表・発言）10%、講義毎の手書きレポートの提出（オリエンテーション時は練習）。				
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	毎回、授業の冒頭に前回のレポートをまとめたうえで、解説して理解の浸透を図る。				
テキスト	指定テキストはありません。必要に応じて資料を配布します。但し、SDGs②は、「田瀬和夫他『SDGs思考』インプレス 2020」をテキストしますが、購入の必要はありません。				
参考文献	必要に応じて紹介します。				
実務家教員による授業	○	教員経歴	キリンググループ他 法政大学大学院政策創造研究科政策創造専攻修士（政策学） 法政大学大学院公共政策研究科サステナビリティ学専攻博士課程 経営倫理実践研究センター常務理事 日本経営倫理学会 CSR 研究部会幹事		
特記事項	講義内容などは、外部講師の調整で変更することもあります。				